

議 事 録

会議名	令和7年度 第4回 福岡市地域公共交通会議
日時	令和8年2月3日(火) 15時00分～16時10分
会場	TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神ブリッククロス 12階 カンファレンスルーム 12B
議事概要	<p>議題1 アイランドシティにおけるオンデマンドバスの実証運行について</p> <p>議題2 壱岐南地区におけるオンデマンドバスの実証運行について</p> <p>議題3 公共交通不便地対策事業（オンデマンド交通）各エリアの運行について（エリア①東区、エリア②南区、エリア③中央区・城南区、エリア④城南区）</p> <p>議題4 生活交通に関する取組み状況について</p> <p>議題5 協議運賃幹事会の付議案件について</p>
発言者	発言要旨
事務局	<p>●令和7年度第4回福岡市地域公共交通会議を開会する。</p> <p><委員紹介></p> <p>●会長を除き委員6名に出席いただきしており、福岡市地域公共交通会議規則第6条第3項に基づき、本会議は成立した。</p> <p>福岡市情報公開条例等に基づき、会議は原則公開としており、議事録については、後日、福岡市のホームページに掲載する。</p> <p>本日は傍聴の申し出が1名。</p> <p>議事の進行については、福岡市地域公共交通会議規則第6条第2項に基づき、会長にお願いする。</p>
会長	○それでは、議題1について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>●議題1 アイランドシティにおけるオンデマンドバスの実証運行について</p> <p><説明></p>
会長	○ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等はあるか。
委員	○延長の目的は何か。
事務局	<p>●アイランドシティのるーとの導入目的としては、1.AI オンデマンドバス運行ノウハウの蓄積、2.AI オンデマンドバスサービスの研究開発拠点の構築、3.事業の黒字化の3点を目標に掲げ実証を開始した。</p> <p>現在、当該サービスは福岡市外を含め68エリアへの導入が進んでおり、1点</p>

	<p>目、2点目の目標については達成していると考えている。</p> <p>一方で3点目の目標については依然として厳しい状況である。令和7年8月よりアイランドシティ内輸送に特化する形で、路線バスとの組み合わせによる収支改善の取組みを実施しているところであり、その効果検証の観点から実証運行を延長するもの。</p>
委員	○承知した。
会長	○その他、質問等ないか。
	(委員からの異議等なし)
会長	○それでは、福岡市地域公共交通会議として、議題1については了承とする。
事務局	○続いて、議題2について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>●議題2 壱岐南地区におけるオンデマンドバスの実証運行について</p> <p><説明></p>
会長	○ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等はあるか。
	(委員からの異議等なし)
会長	○それでは、福岡市地域公共交通会議として、議題2については了承とする。
会長	○続いて、議題3について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>●議題3 公共交通不便地対策事業（オンデマンド交通）各エリアの運行について</p> <p>(エリア①東区、エリア②南区、エリア③中央区・城南区、エリア④城南区)</p> <p><説明></p>
会長	○ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等はあるか。

委員	<p>○これまでも制度に関する基準等は説明があっており認識しているが、今回拡大されるエリアにおいては、例えばバスや駅、タクシーの拠点などの交通モードがある地域も含まれているように見受けられ、既存の交通モードへの影響が懸念される。</p> <p>市において、その影響についてどのように捉えているのか。</p>
事務局	<p>●今回の制度は、生活交通条例に基づき公共交通不便地やそれに準ずる地域を設定している。校区単位で取り組むことにより、鉄道駅など交通結節点を含む場合もあるが、既存の公共交通との調和を図ることとしており、今後、取り組みを進めていくなかで確認・検証なども行っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>○既存交通とうまく連携していければよいと考えており、引き続き検討していただきたい。</p>
委員	<p>○資料中の2エリア（エリア①東区、エリア②南区）において、平日午前2台での運行に変更となっているが、乗合率はどの程度あるのか。増車をするに至った背景などあれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>●社会実験では、平均乗合率は1.5程度となっている。今回増車に至った要因は、朝の時間帯において通院や買い物等の利用が多く、予約が取りづらいといった声があったことから、それに対応する時間帯で増車する計画としている。</p>
委員	<p>○乗合率が1.5程度ということであれば、ほとんど1名ないしは2名での運行だと思う。公共交通不便地ということではあるが、現状安いタクシーになってしまっているのではと懸念するが所見は。</p>
事務局	<p>●稼働状況としては、1台あたり40人から50人程度ご利用いただいている。乗合率を平均的に向上させていきながら、今後、目標収支率である20%を確保していく必要もあると考えており、本取組みの認知度向上や利用促進を図っていく。また、既存の公共交通との乗り継ぎなど、機能分担や連携も必要と考えている。</p>
委員	<p>○実証運行ということであるが、増車したものをその後の状況によって減らすこともある、という認識でよいか。</p>
事務局	<p>●目標収支率を前提としており、その達成のためには、計画の変更もあり得ると考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>○各交通手段には、タクシーは機動性が高く、バスは比較的長距離の移動になるなど、各々特徴があり、これまで社会実験でも報告があったが本取組みはその間を担う交通手段であると認識している。事務局の説明にも調和という発言があったが、既存公共交通と連携しながら、市民の皆様の生活の足となる交通手段になり得るのではと考えており、機能分担や連携が図られるものと期待している。</p>
<p>委員</p>	<p>○まずは乗合率を上げることだと考える。乗合率が低いと、一人を運ぶための交通となり、それが拡大されると安価な対一の交通モードとなってしまう。そうすると、既存の交通との摩擦は増えていく。</p>
<p>事務局</p>	<p>●地域に根差した交通として、通院や買い物だけではなく、公民館などで開かれる地域のイベントへの参加の際にご利用いただくなど、引き続き、地域の身近な生活交通として、乗合率の向上などに努めていく。</p>
<p>会長</p>	<p>○その他、質問等ないか。</p>
<p>会長</p>	<p>○複数ご意見はいただいたが、反対というものではなかったとの認識である。</p> <p>(委員からの異議等なし)</p> <p>○福岡市地域公共交通会議として、議題3については了承とする。</p>
<p>会長</p>	<p>○続いて、議題4について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>●議題4 生活交通に関する取組み状況について</p> <p><説明></p>
<p>委員</p>	<p>○エリア⑧壱岐地区についてであるが、現在壱岐南地区において壱岐南のる一とが運行されており、本日の議題2において1年間の延長が了承された。エリア⑧との重複部分については、運行内容の調整を今後実施する、という説明であったが、市が想定する調整とは具体的にはどのようなことか。</p> <p>例えば、本日の議題2の審議結果を踏まえ、1年間壱岐南のる一とを運行することを前提に新規エリアの拡張を行う、ということになるのか。それとも、エリア⑧における事業者の公募を別途実施する、ということか。</p>

事務局	●エリア⑧における事業者の公募を今後実施する予定としており、その後の状況を踏まえ、沓岐南のる一との運行事業者である西日本鉄道と、運行内容等について調整を行いたいと考えている。
委員	○エリア⑧における事業者公募の結果が優先されるという認識でよいか。
事務局	●その通り。
委員	○そうであれば、議題2の資料内に、1年間の延長については今後実施される公募内容による、といった文言等の記載が必要ではないか。
事務局	●その点については、検討させていただきたい。
委員	○沓岐南のる一との運行事業者である西日本鉄道は、1年間の運行延長が了承されたが、エリア⑧の事業者公募の結果が優先される、という状況について了承されている、という認識でよいか。
委員	○今回の議題2の議決については、まだ公募が実施されていない、という前提であると認識している。
事務局	●今回の議題2の議決については、了承いただいたとおりにしたいと考えるが、資料中の補足文言の記載については、公募を実施していない現状では難しいと考える。
委員	○公募実施予定であるならば、そのとおり記載すれば良いのではないか。そのうえで、公募の結果に応じて事業廃止を検討、といった表現の仕方があるのではないか。
事務局	●検討させていただく。
会長	○検討するということは、事務局として、先ほどの議題2の議決結果については保留するという理解でよいか。
委員	○公募結果によっては、改めて本会議を開催し、場合によっては1年間の延長を取りやめる可能性があるということか。
事務局	●事業者の公募スケジュールは現状未定であり、年度を跨ぐ可能性もあるが、公募結果決定後、必要に応じて、本会議にてお諮りさせていただく。

<p>会長</p>	<p>○事務局の見解として、現状、公募未実施であることから、議題2の議決結果のとおり壱岐南のる一との1年間の延長を実施し、公募結果等により状況が変われば、改めて壱岐南のる一の実証運行について本会議に付議する、という認識でよいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>●壱岐南のる一との1年間延長を付議させていただき、了承していただいている。現状、事業者公募スケジュールは未定であり、今後、進めていくこととしているが、公募結果を踏まえて、関係者と調整を行ったうえで、壱岐南のる一及びエリア⑧の運行について改めて本会議にお諮りさせていただく。</p>
<p>委員</p>	<p>○運行計画素案の中で、車両について小型車両以上と記載されているものがあるがどのような車両をイメージしているのか。10名以上の利用を想定している箇所もあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>●小型車両として考えているものは、乗客4名乗りのいわゆる一般的な小型タクシーである。それ以上となると、ワンボックス車両やジャンボタクシー車両までを想定している。10名以上が利用可能な小型バスなどは想定していない。</p>
<p>委員</p>	<p>○先ほどもご意見があったが、既存のバスが運行しているエリアと重複する箇所も多くある。バスは1日通しての乗車密度で路線の検討を実施するものである。本取組みが実施された場合でも、朝夕については、バスの輸送力が必要になる状況は変わらないと思われる。しかし、日中にバス利用者が減少すれば、減便や撤退といったこともあり得る。一気に広げることで、バスなどの既存の公共交通がなくなってしまう、というような危険もはらんでいる取組みであると思うため、十分な検証の実施をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>○現在のバスの減便は運転手不足の影響が大きいことから、ぜひ運転手確保に向けた支援を検討いただきたい。新型コロナウイルスの影響で運転手が減少したうえ、いわゆる2024年問題で労働時間が短くなっている状況である。また、業務間の休息時間は11時間が推奨されているが、旅客運送は9時間で運用されている。これが11時間というルールになると、より運転手不足の状況は厳しくなる。そういった労働時間の話なども含め、交通としてなんらかの形で議論していただければありがたい。</p> <p>業界としても、運転手確保に向け事業者とともに努力していくが、あわせて支援をご検討いただければありがたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>●運転手不足については、県と連携して取り組んでいるところであり、運転体験会や合同会社説明会などについても共催している。まずはどのような支援</p>

	<p>ができるかも含めて検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>○今回のエリアについて、バス停が多くあるような箇所や高低差がないような箇所も見受けられる。バス停からの距離など、該当する基準等はあるのか。</p>
事務局	<p>●条例で、公共交通不便地の定義として、バス停から 500m以上離れた地域という基準がある。今回応募いただく条件として、そのような箇所を含むエリアとしている。</p>
委員	<p>○山間部等だけではなく、地域にそのような箇所が含まれていれば、運行エリアとする、ということか。</p>
事務局	<p>●公共交通が不便な地域だけではなく、通院や買い物といった生活圏全体を含んでの取組みとしている。</p>
委員	<p>○本取組みにより、バスの収益減や減便にもつながりかねない考える。また、他の地域ではデマンド交通が運行することで、タクシー事業者の収益が大幅に減となったという話を聞いている。</p> <p>先ほどから意見として出ているような、既存交通との調和やバスとの接続を踏まえたデマンド交通の運行といったことを検討いただきたい。</p>
事務局	<p>●通勤など広域な移動をされるような方は、エリア内の最寄りの鉄道駅やバス停などで乗り継いでいただくよう地域とも協議を行っており、そのような利用方法を主眼においた検討も進めているところ。</p>
委員	<p>○バス停間の移動も可能という認識でよいか。</p>
事務局	<p>●バス停をミーティングポイントとしてはおらず、主要なバス停付近を乗り継ぎも踏まえ停留所として設定している。基本的には、公民館や集会所の他、スーパーや病院といった日常生活圏内での移動を主としている。</p>
会長	<p>○その他、質問等ないか。</p> <p>(委員からの異議等なし)</p>
会長	<p>○それでは、議題4については以上とさせていただきます。</p>

会長	<p>○続いて、議題5 協議運賃幹事会の付議案件について、である。</p> <p>この後開催される協議運賃幹事会については、議題3 公共交通不便地対策事業（オンデマンド交通）各エリアの運賃について協議がなされるが、地域公共交通会議として意見等あるか。</p>
委員	<p>○今後公募がなされる予定のものについて、市として運賃の設定を検討する際には、収支率20%を目指すという目標があると思うが、金額ありきではなく、必要経費や収支といった、しっかりとした根拠に基づいた運賃設定を実施いただきたい。</p>
事務局	<p>●運賃については、公募において、事業者が自社の経費や収支等の計算に基づき提案されるものであるため、市が一方向的に決定するものではない。</p>
委員	<p>○公募時点で、ある程度の見込みとなる運賃は事業者から提出されるはずであるため、それらを参考に、事業者が赤字とならないような適正な運賃の設定をお願いしたい。</p>
事務局	<p>●持続可能な生活交通となるよう、適正な運賃設定について検討させていただく。</p>
会長	<p>○それでは、議題5については以上とさせていただきます。</p>
会長	<p>○本日予定していた議題はすべて終了となるが、その他全体を通して意見等はあるか。</p>
事務局	<p>●事務局より事務連絡。</p> <p>現在の委員の任期は令和8年4月15日まで。今後、次期委員選任の依頼を担当よりご連絡するため、ご協力をお願いします。</p> <p>また、委員の追加についても検討中であり、決まり次第、次年度第1回の本会議にて紹介する。</p>
会長	<p>○以上で議事については終了し、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>●本日協議が整った、「アイランドシティにおけるオンデマンドバスの実証運行について」、「壱岐南地区におけるオンデマンドバスの実証運行について」、「公共交通不便地対策事業（オンデマンド交通）各エリアの運行について」は、所定の手続きを進める。</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">●議事録については会議資料とともに公開するため、委員の皆様には後日議事録の確認をお願いします。●本日の会議は以上で閉会する。 |
|--|---|